

平成 2 1 年度 天名小学校研修計画

研究主題	自分や人との出会いから 豊かにつながる子 - 人権総合学習を通して -
教 科 等 領 域 等	全教科・全領域

1 主題設定の理由

本校は、全校児童数が 100 人に満たない少人数の学校である。学年を越えて遊ぶ姿が日常的に見られ、縦割り活動の中では、行事や清掃に真面目に取り組む姿が見られる。また、米作りや天名マイふれあいフェアなどを通して地域とともに歩いていく学校になりつつある。

しかし、学級集団や一人ひとりを見つめ直して、人権・同和教育レポート研修(以下、レポ研)を実施してきた中で、まだまだ、十分につながりきれていない姿が見られる。自分を見つめ直し、自分や家族、地域の方との出会いを通して、自分をかけがえのない存在として意識し、ありのままの姿を認め合い、安心してお互いが自分を出し合えるように本研究主題を設定し、取り組んでいきたい。

2 子どもにつけたい力

- ・自分の思っていることを、お互いに素直に出す力
- ・人権に対する感性を磨き、人権課題を見抜き、その解決に向けて行動する力
- ・自尊感情、自己肯定感、他者理解などの人権の基礎となる力
- ・コミュニケーション力や表現力など、他者とつながれる力
- ・課題解決力や学び方、考え方など、社会に対応できる力
- ・相手の思いを聞き取ったり、自分の思いを出すための基礎になる学力

3 本年度の指導の重点

- 1) 「仲間づくり」の実践の充実
- 2) 人との出会いや出会い直しを中心とした人権総合学習の構築
- 3) 基礎学力の保障

4 具体的な方策

1) 「仲間づくり」の実践の充実

年 3 回のレポ研修を行い、実践を交流し合う。第 1 回のレポ研修では、クラスや集団の課題を明らかにし、第 2 回のレポ研では、その課題を解決していくためになされた実践を提案しあい、第 3 回のレポ研では、今年度の取り組みの成果と課題を明らかにしていく。

2) 人との出会いや出会い直しを中心とした人権総合学習の構築

人権総合学習を展開するに当たっては、体験学習や共通の学習の場を設定し、一人一人に学習課題をもたせる。次に、課題解決に向けて、地域等で活躍されている「ひと」に出会わせる場面を設定する。出会ったその「ひと」の思いや生き方にふれ、話し合い思いを深めさせる。最後に、学んだことを振り返らせたり生活にどう活かしていくかを考えさせたりしていく。そういった過程を繰り返す中で、子ども自らが、友だちとのつながりや生き方を考えていけるような学習を構築していきたい。

3) 基礎学力保障について

相手の思いを聞き、受けとめ、自分の思いを伝えるコミュニケーション力の育成をめざし、学力保障をすることを大切にしている。そのために、各学年の傾向を捉え、一人一人の子どもたちの実態を見つめることで、学年にあった方策を立てて取り組むとともに、個々の学力形成の妨げになっているものを見極め、それに応じた解決方法を見いだしていかなければならない。また、少人数という本校の実態を生かし、いろいろな学習に対して意欲・関心をもたせることを基礎学力の根っこと考え進めていきたい。日常の取り組みとしては、あいさつや返事を奨励していく。また、「話し名人・聞き名人」を全校共通に掲示し、日頃から相手の思いを受けとめ、自分の思いを話す双方向の伝え合いを意識していきたい。